

目 次

テーマ「全合成—天然物から超タンパク質まで」

序：「全合成」の現状と今後の展望	1
(東北大学大学院理学研究科教授) 平間 正博	
1. 天然物合成の今昔：分子パズルの変遷	3
(東京工業大学大学院理工学研究科教授) 鈴木 啓介	
2. 高歪み生理活性天然物：タキソールとインゲノール	9
(北里大学生命科学研究所教授) 桑嶋 功	
3. 天然物全合成と反応開発	15
(東京大学大学院薬学系研究科教授) 福山 透	
4. 全合成に基づく多様な生理活性物質の実践的創製	21
(早稲田大学理工学部教授) 竜田 邦明	
5. 生理活性天然物の不斉合成と工業化	27
(東京大学大学院薬学系研究科教授) 柴崎 正勝	
(東京大学大学院薬学系研究科助手) 大嶋 孝志	
6. 天然物全合成とコンビナトリアルケミストリー	35
(東京工業大学理工学研究科教授) 高橋 孝志	
(東京工業大学理工学研究科助手) 田中 浩士	
7. 神経保護活性PGの発見と短寿命 ¹¹ C-放射核標識PETプローブによる ヒト脳内中枢型プロスタサイクリン受容体の分子イメージング	41
(岐阜大学大学院医学研究科教授) 鈴木 正昭	
8. アクチン脱重合分子の設計と合成	49
(筑波大学化学系教授) 木越 英夫	
9. タンパク質リン酸化制御分子の開発	55
(東北大学多元物質科学研究所教授) 袖岡 幹子	
10. タンパク質化学合成の現状と将来	61
(大阪大学蛋白質研究所教授) 相本 三郎	
11. コンビナトリアル・バイオエンジニアリングによる生体分子の設計と創出	67
(生物分子工学研究所機能創製部門長) 藤井 郁雄	